

平成31年度 山形市幼・小・中・高等学校長会議 教育長挨拶

平成31年度の山形市幼・小・中・高等学校長会議にあたり、山形市の学校教育について年度初めの所感を述べさせていただきます。

はじめに、東日本大震災並びに原子力発電所事故から8年。時は着実に経過しますが、被災地の真の復興にはまだまだ時間がかかるようです。息の長い丁寧な支援を続けていくことが私達の役割であろうと思います。

山形市には、今年度も県外からの避難児童生徒が、小・中・山商合わせて158名在籍しております。昨年度より52名減になります。今後とも、いのちの教育を推進している山形市として、責任を持って対応しなければならないと考えております。特に、避難児童生徒が在籍している各学校におかれましては、どうぞよろしく願いいたします。

さて、新年度が順調にスタートしました。どの学校も新入学児童生徒や新たな教職員を迎え、希望に満ちた学校生活を過ごしておられることと思います。どうぞ、現在の爽やかな、そして、明るい雰囲気大切にしながら、学校経営を推進ください。

「山形市教育大綱」の基本理念は「郷土を誇りに思い いのちが輝く 人づくり」です。この基本理念のもと、今年度も「感動・感謝・信頼」を学校教育のキーワードとして展開してまいります。

とりわけ、各学校の教育活動や学校経営が機能するための根幹は、何と言っても「信頼」です。子どもの、保護者の、地域や社会の信頼、そして、足元の教職員の信頼をしっかりと得られるよう、平素の努力が肝要です。確固たる『信頼』は、日々の真摯な姿勢の積み重ねによってのみ得られるものです。よろしく願いいたします。

それでは、私の後、阿部教育部長から「山形市の教育予算」について、また、金澤事務局次長兼学校教育課長から「学校教育の重点・指導の指針」について、中核市としての教職員研修も含めて具体的な話がございます。私の方からは校長先生方に特にお願いしたいことを大きく4点程申し上げます。

第1点目は、「校長のリーダーシップ」についてです。

昨年度のこの会議で、『山形市教育振興基本計画』の一番はじめに記載してある具体的取組の(1)が「校長による教育ビジョンの提示と指導力の発揮」であり、(2)が「校長のマネジメントによる組織づくりと学校運営」であることをお示しして、校長先生のリーダ

ーシップが学校経営充実のための一丁目一番地であることをお話ししました。やはり、校長先生方のリーダーシップを抜きにして学校経営の充実は語れないと考えています。

まずは、校長先生方の教育ビジョンを熱く、先生方に語り続けていただきたいと思います。ビジョンは教育目標そのものだったり、学校経営の方針だったり、具体的な教師の姿・子どもの姿だったり、いろいろあるのですが、教職員みんなが、子どもや保護者、地域の方々に、校長のビジョンを自分の言葉で語れることが理想の姿であると考えています。校長先生には、ビジョンを語り続ける努力をお願いしたいと思います。

また、ビジョンを策定する際は、十分なりサーチに基づく現状把握が何よりも大事です。その意味では、新任の校長先生方は、しばらくの間、学校内外をじっくりとリサーチする、現状把握することが重要な仕事になりますね。

さらに、ビジョンとして夢を語ることは価値あることだと思いますが、やはり短いスパンを想定した具体的な到達目標の設定が重要です。目標は数値化にこだわることなく、イメージしやすい具体的な姿や状況を示すことに努めていただきたいと思います。

次に、校長先生方には、あらゆる場面でマネジメントリーダーになっていただきたいと願っています。

これまで申し上げたように、学校経営の充実のために、RVPDCAのマネジメントサイクルを機能させることが大切なことですが、個々の課題解決についても、マネジメントでリーダーシップを発揮していただきたいと思っています。しかしながら、個々の課題解決のために何か全体計画のようなものを作成してほしいなどということでは決してごいません。マネジメントサイクルでの見通しを常に描きながら、そして、教職員と共有しながら対応してほしいという意味です。

いじめや不登校の課題についても、教員の働き方改革や不祥事防止・リスク管理等についても、そして、新学習指導要領完全実施へ向けた取組みについても、組織マネジメントを生かして頂きたいと考えているところです。

ところで、余談になりますが、職員室内でお茶やお菓子を囲んだグベリング、雑談の光景がよく見られますか？学校から宿直がなくなり、パソコンに向かう仕事が増え、そもそも忙すぎて職員室に戻れないなど、先生方が集まる機会がめっきり減ったという話をお聞きします。

今、企業の中には、オフサイト・ミーティング、真面目な雑談という意味だそうですが、そのオフサイト・ミーティングを取り入れる企業が増えているそうです。

結論を求めない散発的な話し合いの中で、思考を拡散させ、柔軟な発想を育成するのだそうです。

もちろん、オフサイトですから、企業では、会社の外で比較的時間をかけて取り組むのだそうですが、学校には、職員室テーブルでの雑談文化があります。拡散的思考だけでなく、当然、仲間意識の醸成という大事な効果もあります。新たな形態の研修とも捉えることができます。是非、働き方改革と併せて先生方とも話し合っしてほしいと思っています。

第2点目は、家庭教育の支援についてです。

校長先生方が日々ご苦勞されているように、いじめや不登校、生徒指導上の問題行動などが、家庭環境や家庭の教育力に起因する事案が数多く指摘されています。また、今年1月、千葉県野田市で発生した女児虐待死亡事件が全国的に大きな波紋を投げかけています。国は、緊急安全確認調査を行うと共に、児童福祉士の大幅増員をはじめ、新たな対応策を検討しています。

山形市におきましても虐待通告が複数件あり、児童相談所一時預かりとなったケースもあります。軽微なネグレクト等、少なからず虐待が疑われるものについては、通告数よりはるかに多い数があったと推測されます。

このように、虐待事案に限らず、困難を抱えた家庭への個別の事情に寄り添う支援が喫緊の課題です。それもできるだけ早めの手立てが肝要です。幸い山形市には、警察署、児童相談所、保健所、福祉部署、山形学園、市教委等々で構成されている「要保護児童対策地域協議会」があり、実務者会議が定期的で開催され、また、臨時にも開催され、大変機能していると思っています。

各学校で心配なご家庭を認識したら、すぐに市教委に連絡いただきたいと思います。市教委から要対協はじめ、福祉部署や関係機関とすぐに連携し対応していきたいと考えています。何よりも、家庭支援体制を早急に整えることが重要であると考えております。どうぞよろしく願いいたします。

次は、教育長に就任以来、毎年お伝えしていることです。**第3点目は、教育理念・教育技術の継承**についてです。本市の教職員の年代別割合は表に示した通りです。昨年度は退職者数の増加により、50代の教員が50%を切るところまで減っていましたが、今年は50%を越えました。

増えた主な理由は、新たに50代になられた方もおられますが、山形市内にお住まいで、市外の学校に勤められていた先生方が、最後は山形市で勤務したいと戻られた方が多くおられたようです。

しかし、20代の若手教員は年々着実に増加しています。全体では20代は13.7%

となり、小学校では、16.2%と大きく増えています。今後も、大量退職と新規採用教員の増が見込まれているようです。

若い先生方が増えることは、学校に活力が生まれ、子ども達にとっても喜ばしいことですが、しかし、経験に裏付けられたベテラン教員の教育理念や教育技術が、短期間でうまく若手教員に引き継がれていくのかどうかという懸念は、やはり払拭されません。

どうぞ、校長先生も含め、ベテラン教員から若手教員への「教育理念・教育技術の継承」について、各学校でも学年や教科部会を通して、校務分掌を通して、あるいは、校内研究や現職教育の一環として、校内の様々な機会に、意図的・計画的に取り組んでいただきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

最後の第4点目は、教職員のサービスの厳正です。毎年のように、県内で不祥事が発生し、市民・県民の信頼を大きく裏切っています。

資料は、平成30年度に県教育委員会が発表した懲戒処分の一覧です。年度末にも庄内地区教員によるワイセツ事案等のマスコミ発表があったばかりです。山形市立小中校でも、残念ながら交通違反による懲戒処分事案は発生しています。

県民、市民の負託や教育に対する期待・信頼に応えていくためにも、私達は、不祥事の絶無に向けて真摯に取り組んでいかなければなりません。

そのためには、コンプライアンスの徹底と共に、師表としての自覚を更に求めていくことや、すでに各校で作成してある校内ルールや申し合わせ事項の再確認、また、弱音を吐くことができる教師集団の育成。私は先程の「テーブル雑談」とともに、不安感や心身の辛さなどについて、弱音が吐ける職員室の雰囲気はとても大切なことだと思っています。さらに、付け加えるならば、校長先生方の目配り・気配りです。教職員の意欲を育む適切な評価や心身の状態への細やかな配慮など、どうぞよろしく願いいたします。

そして、不祥事の背景と成り得る教職員の多忙化やストレスの解消に向けては、学校と教育委員会が力を合わせて改善のため努力を続けていかなければならないと考えております。

以上、4項目について縷々お話し申し上げました。

結びになりますが、先生方は子ども達にとって最大の教育環境です。先生方や校長先生ご自身の心身の健康には十分にご留意いただきたいと思っております。

それでは、今年度の山形市の教育方針をご理解いただき、各学校の教育活動の充実のため、ご尽力いただきたいと存じます。